



2020年3月19日

各 位

株式会社 第四銀行  
だいし経営コンサルティング 株式会社

### 株式会社 エフエム雪国への「だいし創業支援ファンド」による出資について

株式会社 第四銀行（頭取：並木 富士雄）と、だいし経営コンサルティング 株式会社（社長：今泉 彰彦）は、共同で設立した「だいし創業支援ファンド」により、株式会社 エフエム雪国（代表取締役社長：塩谷 成一）に出資いたしましたので、お知らせいたします。

株式会社 エフエム雪国は、1998年10月に設立し、南魚沼市および湯沢町を中心にFM放送局として地域情報の発信を行っています。また、新事業として、2019年10月より南魚沼市および湯沢町を対象とした地方紙「雪国新聞」を発刊し、視覚に訴える写真なども活用した地域のきめ細かな情報の発信を行っています。本ファンドで調達した資金は、地域新聞事業の運転資金に充てられます。

第四銀行グループでは、これからもコンサルティング機能の発揮により、創業者の皆さまをサポートし、新潟県の地方創生実現に貢献してまいります。

#### 記

#### 1. 投資案件の概要

投資先名	株式会社 エフエム雪国（代表取締役社長：塩谷 成一）
所在地	新潟県南魚沼市六日町 106-1
出資額	8,000 千円
出資金用途	地域新聞事業の運営に伴う運転資金
企業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・南魚沼市および湯沢町を中心にFM放送事業を実施。</li><li>・多発する自然災害を受け、災害時に情報を発信できる体制を整備。</li><li>・南魚沼市および湯沢町に特化した新聞がないことから、新事業として、地域新聞事業を開始。地域情報の発信を通じて地域活性化へ更なる貢献を行う。</li></ul>

#### 2. 投資決定のポイント

当ファンドを運営するだいし経営コンサルティング 株式会社では、以下のポイントを中心に総合的に評価し、投資を決定いたしました。

- ・地方紙「雪国新聞」の発刊は、「地域情報の発信」というFM放送事業と共通点のある事業であり、これまで蓄積したノウハウが活用できること。
- ・南魚沼市および湯沢町に特化した地方紙が存在せず、地域で一定のニーズが見込めること。また、実際に、発刊からこれまでの期間、購読者数が堅調に増加していること。
- ・地域情報の発信により、地域活性化への貢献のほか、災害対策を見据えた情報発信手段の多様化にも貢献できること。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

第四銀行 営業本部／高田 (025)229-8180

だいし経営コンサルティング／石井 (025)226-7605



第四銀行では、SDGs の達成に貢献する取り組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs17 の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】

2015 年 9 月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての 2030 年までの世界共通目標。

持続可能な開発のための 17 の目標と 169 のターゲットで構成。